戦争で使うエネルギーと⚡ 500 お金でどんなことができたのか

世界がピンチ 戦争のデメリット新聞 ～戦争で使われたエネルギーと資源～

札幌市立桑園小学校 6年
・安藤壮星
・石川雅也
・佐野隼

はじめに

最近いろいろな物が値上がりしていると、ニュースで見聞きしていると思います。原因として上げられるのが「円安」が進んでいることが一つだと思います。他に考えたとき、「ロシアと電気代が3倍ぐらい高くなった、なんてことはないと思います。実は、ロシアは、2020年の段階で化石燃料のどれもウクライナの戦争」これを思いつきました。そして一つこの物価高の要因がわかり埋蔵量トップ10に入るくらいの化石燃料大国なのです。他にも戦争によるひがいがないか今回は調べたことをまとめます。

出典：ねとらぼ 6年3組のクラスメイトにアンケートをとりました。

〈戦争で使うお金〉

〈デメリットその1〉兵士や機材への支出は、ロシアのGDPの約3%、つまり年間670億ドル（約9兆300億円）と推定されています。だけど歴史的な基準からすると今回のウクライナ侵攻は比較にならないほど小さなものです。例えば第二次世界大戦中のソ連はGDPの約61%を費やしていた。

出典：T&A税理士法人

〈ミサイル〉1発の値段が高い！ KH-101ミサイルは約19億円。弾道ミサイルは約10億円

出典：朝日新聞デジタル

〈デメリットその2〉今回のウクライナ侵攻で温室効果ガスの排出量が少なくともほぼ1億トンの分析されている。これはオランダが通常の経済活動を通じて同期間に排出した量に相当するという。

出典：Reuters

〈デメリットその3〉環境破壊！ 戦争による爆風で木などがなくなった。火災による森林がなくなっている。ドーム2個分の森林がなくなってしまうけど今は軽油を燃料とするディーゼルエンジンを使用しているため軽油の消費が多い。

出典：乗り物ニュース

〈ミサイル〉一般的に（ブタジエン系の合成ゴム）と酸化剤（過塩素酸アンモニウム）などを均一に混ぜ合わせて固めたものを使用している。

出典：フォン！フォン！JAXA

〈戦車〉昔はガソリンで、すぐ火に着火して使用しているため軽油の消費が多い。

出典：乗り物ニュース

戦争で使う兵器のエネルギー

〈戦争で使うお金でソーラーパネルがどれくらいつくれるか〉

・ミサイルの場合、ミサイル一発19億でソーラーパネル一枚の値段であると、なんと、ミサイル一発の値段で二万七千百四十二枚もつくれます。

・戦争じたいの総合的に使われたお金の方でもためしてみましょう。戦争で使うお金は約99兆3400億円、ソーラーパネルは7万円これを戦争で使うお金は約99兆3400億円でソーラーパネルは7万円で計算するとソーラーパネルを132857142個も作れる。

出典：ソノベステーション

〈小まとめ〉これらの使われるエネルギーやお金は戦争がなくなれはもっと有効的に使えると思いました。もし戦争がなくなれば、エネルギーやお金が節約できて色々な物が輸入されてもっと暮らしが楽になると思いました。

ソーラーパネル1枚で1日200w発電できるそうです。つまり…

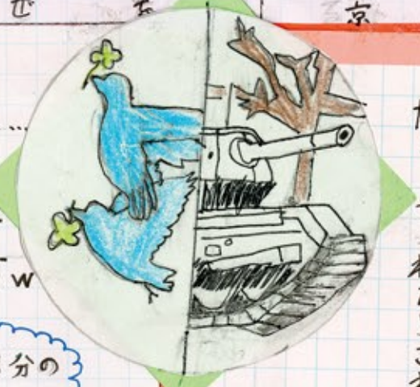
27142
× 200
5428400w

これは4人家族の42万日分の電気の量です。

132857142
× 200
26571428400w

こちらはなんと2043956030日分の電気の量です。

戦争がなくなると…



取材に行きました！

〈北海道ノーモア・ヒバクシャ会館〉

ノーモア・ヒバクシャ会館では1945年5月6日に広島に落とされた原爆の爆発範囲のことが、記録されていました。

そして、なんとその爆発範囲50.24km²で全てが全壊もしくは半壊するほどものすごい威力となっています。これは、札幌市の中央区の建物がなんと一発で全てが全壊もしくは半壊するほどものすごい威力となっています。

〈右の数値の求め方〉まず広島型原爆の被害範囲を求める。

被害の半径 4000
× 4000
160000000

160000000
× 3.14
640000000
160000000
480000000
502400000000㎡

(1km²になおして…)
502.4km²
これを札幌市の南区と比べ
（南区）
65.75km² > 502.4km²

となりました。

そしてこれは、科学技術が栄えている現在同じように原爆（核爆弾）が落とされたら、今回のようにならないくらいの広範囲がふきとんでしまう可能性があるかもしれません。

1945年5月6日の話。こう、取材に協力してくださった北海道被爆者協会北明邦雄さんに質問しました。

すると、こう答えてくれました。

〈そうだと思います。実は、現在の日本は、核兵器は手放したとされていますが、手放しただけであり、核についての研究はまだ続いています。そう邦雄さんは答えてくれました。つまり、日本も、下のようにやったり、やられたりされるわけだと思います。

今回は、札幌の南区を例に上げましたが、もっと人がいたり、木があったりなど、条件は様々です。さらに、ふっこうのためにつかう資源などもあり、というものは、エネルギー&環境問題へ直けつすると考えます。

このまま戦争が続いたらエネルギー&環境問題悪化へつながってしまう！

戦争をやめることはエネルギー&環境問題防止の大きな一歩へ

編集後記

壮星

今回の新聞づくりで戦争は人の命をうばうだけだと思っていたけど命をうばったりエネルギーの消費も多く今回の学習でもっと戦争はよくないと思いました。ウクライナ侵攻、早くおわってほしいと思いました。

雅也

「人どうしのくだらない争い」戦争なんてそんなものだと。このカベ新聞をまとめる手ではそうとしか思っていませんでした。ですがしらべていくと戦争で失なってしまったものは、「平和」「人」だけでなく「エネルギー」や「今までの生態系」これらも、失っていることに気づきました。取材に協力してくださった邦雄さんも言っていましたが「戦争は基本的になにも生まない」今回はそれに気づかされました。ぼくたちは、直接には何もできないため、「ムダ使い」をなくしたいと考えます。

隼

今回の新聞づくりで、改めて分かった事は戦争は一部の人しか得がなくその他の人は、心も、お金も、人きょうも、人がきずつくことしか、起こらない事だと改めて思いました。そのような事が分かって戦争のデメリットはいっぱいある事が分かり絶対に戦争をやってはいけないと思いました。